

2022年2月21日

第四回花粉飛散傾向を発表 花粉観測機「ポールンロボ」がスギ花粉の飛散を検知
1都13県で花粉シーズン開始、週後半にも本格的な飛散へ
～コロナ禍の花粉対策に、1時間ごとの花粉の飛散量と飛散予報をアプリで無料公開中～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開 千仁)は花粉観測機「ポールンロボ」の花粉検出個数や、ユーザーからの花粉症の症状報告を総合して、東京都や九州など1都13県が2月20日までに「花粉シーズン」に入ったことを発表しました。厳しい寒さの影響で、昨年よりも遅い飛散開始となりました。九州や中国・四国エリアでは3月中旬、関東や東海エリアでは3月下旬にかけてスギ花粉の飛散が続き、その後は4月中旬まではヒノキ花粉が飛散する予想です。

一度飛散が始まると気温が低い日でも花粉が飛びやすくなります。また、気温が15℃を上回るような日には大量飛散のおそれがあります。症状が出る方はマスクや目薬などで万全の対策をするようにしてください。外干した布団や洗濯物は、よくはたいてから取り込むことが有効です。

なお、スマホアプリ「ウェザーニュース」の「花粉 Ch.」では、1時間ごとのピンポイント花粉予報や、リアルタイムの花粉の飛散状況を無料で配信しています。毎日の花粉症対策にお役立てください。

✓ポイント

1. 東京都や九州など1都13県で花粉シーズン開始
2. 週後半には西・東日本の広範囲で飛散開始
3. 飛散ピークはスギ花粉が2月下旬～3月下旬、ヒノキ花粉が3月下旬～4月中旬

毎日の花粉予報や花粉観測データはこちら

スマホアプリ「ウェザーニュース」をダウンロード
<https://weathernews.jp/app/>

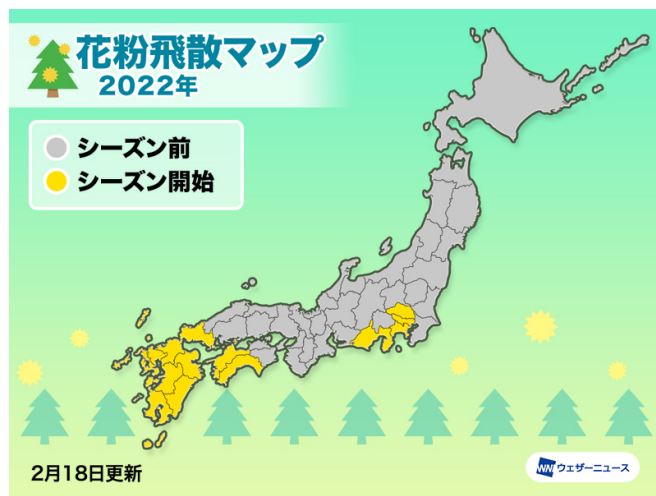
ウェザーニュースウェブサイト「花粉 Ch.」
<https://weathernews.jp/s/pollen/>

◆ 東京都や九州など1都13県で花粉シーズンに突入

2月20日までに東京都、神奈川県、埼玉県、静岡県、愛媛県、高知県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の1都13県でウェザーニューズ独自の花粉観測機「ポールンロボ」が花粉を検出し、スマホアプリ「ウェザーニュース」のユーザーからの花粉症の症状報告でも“つらい”や“ややつらい”の回答が増加していることを総合して、花粉シーズンに突入したことを発表しました。

スギの雄花は暖くなると花粉を飛ばし始めます。今冬は全国的に寒気の流れ込みが続き、2月

に入っても気温が低い日が多くなっています。ただ2月中旬からは低気圧が本州付近を通過するなど一時的ですが寒気が弱まるタイミングが出てきました。この影響で九州や四国では最高気温が15℃前後まで上がる日が出てきており、雄花の開花が進んでスギ花粉の飛散シーズンに突入したものと考えられます。

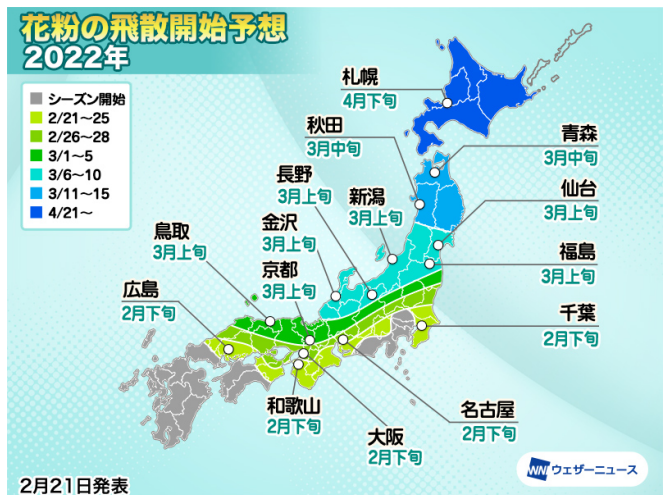


<花粉シーズン開始判断の目安>

- ・ 花粉が飛びそうな日に、各都道府県で3割以上のポールンロボが2日以上10個を上回る花粉を観測
 - ・ ユーザーの花粉症症状、周辺の研究機関や病院などのダーラム観測データ
- 以上をもとに、総合的に判断しています。

◆ 週後半には西・東日本の広範囲で飛散開始

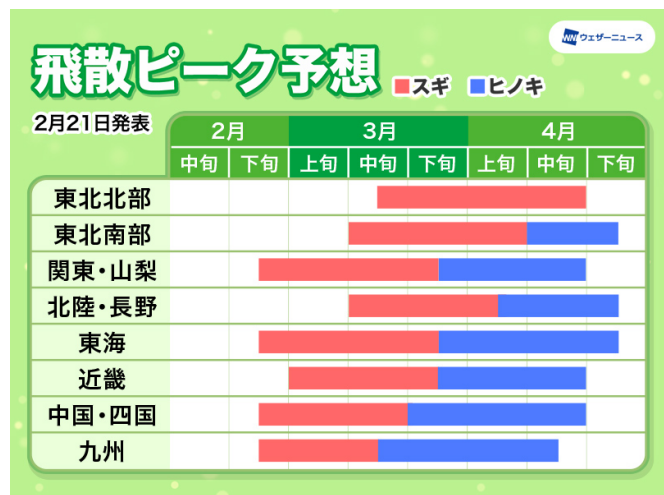
2月下旬から3月は高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は周期的に変わる見込みです。気温は今週前半までは低い状況が続きますが、週後半からは平年を上回る暖かな日が現れてくる見込みです。特に東日本や北日本では3月の気温は平年より高くなる予想です。このため、週後半には西・東日本の広範囲で飛散が始まりそうです。3月に入ると北陸、東北エリアでも飛散が始まる見込みです。



◆ 飛散ピークはスギ花粉が2月下旬～3月下旬、ヒノキ花粉が3月下旬～4月中旬

花粉シーズンに入った後、1週間から10日くらいで花粉の飛散が本格化します。西日本や東海、関東では暖かくなっていく週後半から、北陸や東北では3月中旬からスギ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

3月後半になるとスギ花粉の飛散は徐々にピークを越えて、西日本からヒノキ花粉の飛散が増えてきます。3月下旬から4月中旬にかけて西・東日本を中心にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。気温が高めに推移すると予想よりもピークが早まる可能性があるため、ヒノキ花粉に敏感な方はご注意ください。



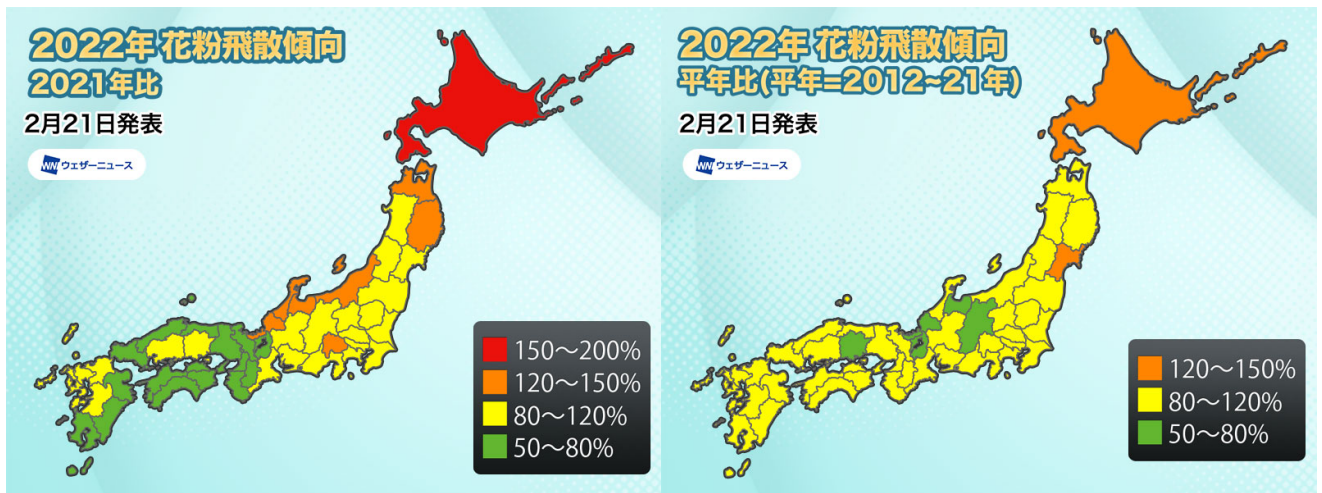
シラカバ花粉が飛散する北海道は、道南・道央ではゴールデンウィーク前後、道北・道東では5月中旬に飛散ピークを迎える予想です。

◆ 飛散量は北日本や北陸で 2021 年より多く、西日本では少ない予想

2022 年の花粉飛散量は、2021 年と比べると北日本や北陸で多く、関東や東海では同程度、西日本では少ない予想です。北海道では 2021 年比で約 180%、東北北部や北陸では 2021 年比で約 130%になる予想です。一方、2021 年に飛散量が多かった西日本では 2021 年比で約 75%になる見込みです。

平年(2012~2021 年の平均)との比較では平年並となるエリアが多く、全国平均では平年の 98%程度になるとみえています。ただ、北海道では平年比 140%と多くなる予想です。

暖かい日や風の強い日、雨の翌日など、一時的・局地的に大量の花粉が飛散することもあるので、しっかりと対策を行ってください。



◆ 都道府県ごとの花粉飛散傾向

エリア	都道府県	花粉飛散量 (2021年比)	花粉飛散量 (平年比)	花粉シーズン 開始日/予想	花粉シーズン 終了予想
北海道	北海道	178%	140%	4月下旬	6月上旬
東北北部	青森県	124%	100%	3月中旬	5月上旬
	岩手県	138%	110%	3月中旬	5月上旬
	秋田県	115%	102%	3月中旬	5月上旬
東北南部	宮城県	114%	134%	3月上旬	5月上旬
	山形県	105%	119%	3月上旬	5月上旬
	福島県	105%	116%	3月上旬	5月上旬
関東・山梨	茨城県	95%	98%	2月下旬	5月上旬
	栃木県	99%	98%	2月下旬	5月上旬
	群馬県	115%	110%	2月下旬	5月上旬
	埼玉県	112%	103%	2月17日	5月上旬
	千葉県	101%	102%	2月下旬	5月上旬
	東京都	115%	112%	2月17日	5月上旬
	神奈川県	106%	104%	2月16日	5月上旬
	山梨県	123%	84%	2月下旬	5月上旬
北陸・長野	長野県	119%	72%	3月上旬	5月中旬
	新潟県	130%	88%	3月上旬	5月上旬
	富山県	126%	75%	3月上旬	5月上旬
	石川県	149%	88%	3月上旬	5月上旬
	福井県	127%	75%	3月上旬	5月上旬
東海	静岡県	100%	91%	2月17日	5月上旬
	愛知県	99%	91%	2月下旬	5月上旬
	岐阜県	118%	107%	3月上旬	5月上旬
	三重県	87%	108%	2月下旬	5月上旬
近畿	滋賀県	70%	73%	3月上旬	5月上旬
	京都府	71%	88%	3月上旬	5月上旬
	大阪府	70%	91%	2月下旬	5月上旬
	兵庫県	78%	81%	2月下旬	5月上旬
	奈良県	75%	83%	2月下旬	5月上旬
	和歌山県	66%	82%	2月下旬	5月上旬
中国・四国	岡山県	84%	77%	2月下旬	5月上旬
	広島県	81%	87%	2月下旬	5月上旬
	鳥取県	63%	91%	3月上旬	5月上旬
	島根県	60%	88%	3月上旬	5月上旬
	山口県	73%	100%	2月16日	4月下旬
	徳島県	68%	94%	2月下旬	5月上旬
	香川県	65%	107%	2月下旬	5月上旬
	愛媛県	57%	104%	2月16日	5月上旬
	高知県	60%	101%	2月16日	5月上旬
九州	福岡県	109%	106%	2月15日	4月下旬
	佐賀県	116%	105%	2月16日	4月下旬
	長崎県	110%	108%	2月15日	4月下旬
	大分県	74%	89%	2月16日	4月下旬
	熊本県	85%	104%	2月16日	4月下旬
	宮崎県	64%	82%	2月16日	4月下旬
	鹿児島県	71%	105%	2月17日	4月下旬
全国		94%	98%	—	—

* 本プレスリリースは速報値であるため、シーズン終了後に確定値として更新する可能性があります。

* 花粉飛散量の平年値:2011年～2020年の10年平均飛散量

◇ 参考情報:きめ細かい花粉飛散予報で万全の対策を

スマホアプリ「ウェザーニュース」の「花粉 Ch.」では、花粉の飛散予報や天気、風の予報を 1 時間ごとの時系列で確認できるピンポイント花粉予報や、全国約 1,000 か所に設置している IoT 花粉観測機「ポールンロボ」の花粉観測データを公開中です。また、「花粉対策アラーム」では、毎日の花粉予報や大量飛散情報をスマホに PUSH 通知でお知らせします。「花粉 Ch.」や「花粉対策アラーム」はどなたでも無料でご利用いただけます（「花粉対策アラーム」は一部有料）。

花粉症対策は早めが効果的と言われているため、ピーク前からの対策がおすすめです。つらい季節を少しでも楽に過ごせるよう、「花粉 Ch.」や「花粉対策アラーム」をお役立てください。



1 時間ごとの花粉飛散予報



1 時間ごとの花粉観測データ
(ポールンロボ観測データ)



「花粉対策アラーム」サンプル